



笑顔あふれる家庭づくりを

鹿児島市レクリエーション協会長の大迫元信さんによる講演とマジックショーが、12月23日に田皆コミュニティセンターでありました。子どもも大人もマジックを楽しんだあと、「子ども一人ひとりの良さを伸ばす家庭教育の在り方」と題した講演が行われ、保護者たちは笑顔あふれる家庭づくりの大切さを学んでいました。



日本女子バンタム級初代チャンピオン

日本女子バンタム級初代チャンピオンの吉田実代選手が、1月2日に今井町長を表敬訪問しました。吉田選手は、父親が知名町出身で、この日は祖母の渡辺昭美さん（小米字）とともに役場へ来庁。今井町長にチャンピオンベルトを披露し、「チャンピオンとしてこれからも活躍し、知名町に貢献したい」と語りました。



家族・親子でミニバレエ体験

家族・親子が楽しみ、絆を深めることを目的とした「ミニバレエたいけん」が、1月8日に町民体育館でありました。この体験は、地域で支える家庭教育推進事業の一環として開催され、今回は親子連れなど8組約30名が参加。参加者は、ミニバレエを通して家族同士や子ども同士の交流を深め、元気いっぱい楽しんでいました。



大人顔負け子ども芸能祭

子ども芸能祭が、1月20日にあしびの郷・ちなでありました。今回は、14の個人・団体、総勢70名の子どもたちが、エイサー、島唄、琉球・日本舞踊、ピアノ演奏など、日頃の練習の成果を発表。大人顔負けの舞台発表に、会場に訪れた人たちは大きな拍手を送り盛り上がりしていました。



大事な文化財を守るため

文化財保護を目的として行われる防火訓練が、1月29日に中央公民館でありました。訓練では、図書館の中からの出火を想定し、避難及び文化財の適切な搬出、消火活動の手順などを確認。参加した職員や関係者、子どもたちは真剣に消防署員の話聞き、訓練に取り組んでいました。



民泊始めませんか？

おきのえらぶ島観光協会主催の島内民泊開業者事例発表会が、1月28日に知名町商工会館でありました。会には新たに民泊事業を考えている人や観光業、行政関係者など約20名が参加。沖永良部島での民泊の現状や魅力、今後の民泊に関する法改正などについて情報・意見交換が行われました。